



JASDAQ

2019年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社大日光・エンジニアリング
代表者名 代表取締役社長 山口 侑男
(JASDAQ・コード6635)
問合せ先 役職・氏名 取締役経営企画長
為崎 靖夫
電話 (0288) 26-3930

業績予想との差異に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期(2019年1月1日~2019年12月31日)第2四半期連結業績予想と、本日公表致しました第2四半期決算短信におきまして下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期連結業績予想値と第2四半期決算短信における実績値との差異
(2019年1月1日~2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	13,000	△60	△110	△110	△42.38
今回修正 (B)	12,679	31	35	49	18.95
増減額 (B-A)	△320	91	145	159	—
増減率	△2.5%	—	—	—	—
(ご参考)2018年12 月期第2四半期実績	12,649	71	44	△37	△14.35

2. 差異の理由

損益面では、売上高減少から引き続き苦戦を強いられる状況が続いておりますが、国内外における継続的なコストダウン活動の効果及び中国・深圳子会社における製品別売上構成の変化による粗利率の改善等により、当初の損失見込に対し、営業利益は31百万円となりました。

また、国内子会社における貸倒引当金繰入等の計上があった一方、保険の満期償還金、国内子会社における受取補償金などから、経常利益は35百万円となりました。

上記に加えて、固定資産売却益、投資有価証券売却益、負ののれん発生益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円となりました。

なお、2019年12月期通期業績予想につきましては、米中貿易摩擦の激化や日韓関係等、経営環境を取り巻く先行き不透明感が強まっていることにより、現時点での変更はございません。上記の予想に係る事項については、公表日現在で入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後起こりうる様々な要因によって実際の業績は異なることがあります。

以上